



科学を映像化して人をつなぐ 

サイエンス映像学会 第5回大会

防災と 長寿

リスク社会を
どう生き抜くのか

基調講演 1

27
火
12:45~13:15

「復興教育の方法と教材作り」

—— 大震災の教訓をどう活かすのか

発表者 長坂 俊成 (独立行政法人防災科学技術研究所 主任研究員)

基調講演 2

27
火
13:20~13:50

「画像科学とこころ」

—— 東日本大震災、そのとき人間の脳は?

発表者 林 成之 (国際脳低温療法学会 会長)

シンポジウム 01

27
火
13:55~15:25

「復興の未来イメージを シミュレーションする」

—— 東日本大震災から1年が過ぎて

- パネリスト 本田 敏秋 (岩手県遠野市長)
- パネリスト 樋口 邦史 (富士ゼロックス(株) 復興推進室室長)
- パネリスト 長坂 俊成 (独立行政法人防災科学技術研究所 主任研究員)
- モデレーター 徳山 喜雄 (朝日新聞社ジャーナリスト学校 主任研究員)

シンポジウム 02

28
水
13:30~15:00

「科学が迫る長寿の秘訣」

—— 高齢者の安心安全な暮らしとは

- パネリスト 昇地 三郎 [105歳] (福岡教育大学 名誉教授)
- パネリスト 笹本 恒子 [97歳] (女性報道写真家の第一号)
- パネリスト 河瀬 斌 (慶應義塾大学医学部 名誉教授)
- モデレーター 林 勝彦 (元NHKスペシャル「驚異の小宇宙『人体』」プロデューサー)

サイエンス映像学会とは

サイエンス映像学会は映像を通して自然や科学の世界を理解するとともに、アーカイブ化できた貴重な映像を大人だけではなく、広く子どもたちの教育にも役立ててゆくことを目的としています。この学会は、科学者だけではなくテレビプロデューサー・ディレクター、映像クリエイター、小・中・高・大学の教師、そして若い学生たちによる共同活動によって、サイエンス映像のバブリックドメイン化を進めてゆきます。つきましては、来る3月27日、28日に、JR渋谷駅の青山学院大学青山キャンパスにて学会の第5回大会を開催いたします。どうぞ奮ってご参加ください。

日時 3月27日[火] — 28日[水]

3月27日: 12:00—18:30 (11:00から受付、18:50から懇親会)
3月28日: 09:30—19:20 (9:30から受付)

場所 青山学院大学 [青山キャンパス]
総研ビル 11階(受付)・12階

アクセス

JR山手線、東急線、京王井の頭線渋谷駅、宮益坂方面の出口より徒歩約10分。地下鉄表参道駅B1出口より徒歩約5分。青山学院大学 渋谷キャンパスの正門を入ってすぐ右手側の建物が「総研ビル」です。受付は11階にありますのでエレベーターで11階まで上がってください。

お問い合わせ

サイエンス映像学会 事務局 [担当:松本/泉山]
Tel 0797-76-5720 FAX 0797-76-5725
Mail : svsjimu@gmail.com

 林勝彦氏制作の「原発震災ドキュメンタリー映画『いのち』」発表あり! 詳細は裏面へ

2日間のプログラムとタイムスケジュールはチラシ裏面に記載しています

- 主催 サイエンス映像学会
- 共催 青山学院大学社会情報学部
- 後援 関西学院大学東京丸の内キャンパス

3月
27
火

大会1日目 テーマ：**防災**
開場 11時00分・大会開始 12時00分
参加費無料／懇親会のみ有料(学会員割引あり)

11:00	ロビー発表(受付フロア[11階]にてブース展示・ポスター発表が行われています)
12:30~12:35	開会宣言 沼田 篤良(ディスカバリージャパン 前代表取締役会長)
12:35~12:40	開会あいさつ 徳山 喜雄(第5回大会委員長)
12:40~12:45	会長あいさつ 養老 孟司(東京大学 名誉教授)
12:45~13:15	基調講演 1 「復興教育の方法と教材作り」 ～大震災の教訓をどう活かすのか 長坂 俊成(独立行政法人 防災科学技術研究所 主任研究員)
13:20~13:50	基調講演 2 「画像科学とこころ」 ～東日本大震災、そのとき人間の脳は? 林 成之(国際脳低温療法学会 会長)
13:55~15:25	シンポジウム 1 「復興の未来イメージをシミュレーションする」 ～東日本大震災から1年が過ぎて ◎パネラー等は表面をご参照下さい
15:40~16:10	テーマ発表 1 「津波のメカニズムを探る」 ～来たる巨大地震に備えて 高橋 智幸(関西大学社会安全学部 教授)
16:15~16:45	テーマ発表 2 「放射性物質の大気拡散シミュレーションと可視化」 ～时时刻刻と変わる汚染状況をつかむために 永井晴康(独立行政法人 日本原子力研究開発機構 環境動態研究グループリーダー)
16:50~17:20	テーマ発表 3 「原発震災を映像化する」 ～WEB放送局「いのち」プロジェクトの挑戦 林 勝彦(元NHK「人体」プロデューサー)
17:25~17:55	テーマ発表 4 「防災教育のためのマルチプル電子図鑑を制作」 ～震災の記録を次世代の記憶へ繋ぐ教材開発 畑 祥雄(関西学院大学総合政策学部 教授)
18:00~18:30	テーマ発表 5 「災害と医療を科学する」 ～非常事態に求められる医療技術とは 杉本 真樹(神戸大学大学院医学研究科内科学講座 消化器内科分野 特命講師)
18:50~20:00	懇親会[学会員と一般参加者の交流] 場所:アイビーホール 参加費:2,000円

3月
28
水

大会2日目 テーマ：**長寿**
開場 9時30分・大会開始 10時00分
参加費無料

10:00~12:30	学生サイエンス映像発表会 (映像作品募集中)
	分科会発表 (発表者応募受付中)
	募集・応募の詳細は、 http://gm.svsnet.jp を参照下さい
12:30~13:30	昼食休憩 ロビー発表(ブース展示・ポスター発表)
13:30~15:00	シンポジウム 2 「科学が迫る長寿の秘訣」 ～高齢者の安心安全な暮らしとは ◎パネラー等は表面をご参照下さい
15:00~15:15	休憩 ロビー発表(ブース展示・ポスター発表)
15:15~15:45	全体発表 ① 伊関 洋(東京女子医科大学 教授)
15:50~16:20	全体発表 ② 坪田 一男(慶應義塾大学医学部 教授(眼科学))
16:25~16:55	全体発表 ③ 軍司 達男(前NHKエデュケーショナル 社長)
17:00~17:30	全体発表 ④ 坂井 滋和(早稲田大学 教授)
17:35~18:05	全体発表 ⑤ (日本ユネスコ協会連盟 一交渉中)
18:10~18:40	全体発表 ⑥ 小出五郎(日本科学技術ジャーナリスト会議 前会長) 藤田良治(北海道大学総合博物館 助教)
18:45~19:05	全体統括会議 (SVS担当理事によるまとめ)
19:05~19:20	2012年度 活動宣言 (2011年度 活動報告を踏まえて)

19:20 閉会

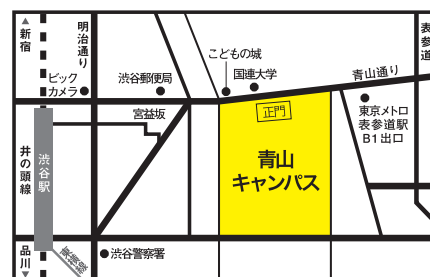
- 大会2日目の発表テーマの詳細は、サイエンス映像学会ウェブサイトにてお知らせします
- 諸事情によりプログラムの一部が変更となる場合もございますので予めご了承下さい(変更がある場合にもウェブサイト上で告知をさせていただきます)

大会参加お申込みフォーム **FAX: 0797-76-5725**

フリガナ ご氏名	同行者名
ご所属 企業・学校名等	参加日 <input type="checkbox"/> 両日 <input type="checkbox"/> 3月27日(火)のみ <input type="checkbox"/> 3月28日(水)のみ
●ご住所	
●お電話番号:	
●E-mailアドレス(PC):	

※この用紙に記入の上FAXを下するか、Webにてお申し込み下さい

会場のご案内 / 大会に関するお問合せ先



青山学院大学
青山キャンパス 総研ビル11階・12階
東京都渋谷区渋谷4-4-25
JR山手線、東急線、京王井の頭線渋谷駅
宮益坂方面の出口より徒歩約10分
地下鉄表参道駅B1出口より徒歩約5分
■お問合せ
サイエンス映像学会 事務局
Tel: 0797-76-5720(担当:松本・泉山)
Mail: svsjimu@gmail.com

※総研ビルは、正門を入れて右手側の建物です



科学を映像化し、人をつなぐ
サイエンス映像学会
サイエンス映像学会は、映像文化を通して教育と科学を育みます。

詳しくは **サイエンス映像学会** **検索**

大会内容・参加お申込み、学会ウェブサイトから!

<http://svsnet.jp>